

麻疹(はしか)について

2026年(令和8年)3月11日
長野県健康福祉部疾病・感染症対策課

麻疹とは

- ・ 麻疹は、麻疹ウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症です。
- ・ 感染力が非常に強く、免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続するといわれています。

症状について

- ・ 麻疹ウイルスに感染すると、約10～12日後(最大21日後)に発熱や咳、鼻水、目の充血といった風邪のような症状が出現し、頬の内側の粘膜に灰白色の小斑点(コプリック斑)が現れます。
- ・ 2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。
- ・ 肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者の1,000人に1人程度の割合で脳症が発症します。また、患者の約10万人に1人の割合で、数年から数十年後に亜急性硬化性全脳炎(SSPE)という重い脳症を発症することがあります。
- ・ 死亡する割合は、先進国であっても1,000人に1人といわれています。

発生状況について

年	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8※
長野県	4	1	6	0	0	0	0	0	2	1
全国	186	279	744	10	6	6	28	45	265	87

※長野県:令和8年3月8日現在、全国:令和8年3月1日現在

感染経路について

- ・ 空気感染、飛沫感染、接触感染により人から人へ感染します。
- ・ 周囲へ感染させる期間(感染可能期間)は、発症日の1日前から解熱後3日間を経過するまでの期間で、発症前から感染力があります。

感染予防について

- ・ 麻疹の効果的な予防方法は、ワクチンの接種です。
- ・ ワクチンは2回接種を受けることが重要です。
(ワクチンを接種することで、95%程度の人が免疫を獲得することができ、2回の接種を受けることで1回の接種で抗体が十分に産生されなかった方の多くに免疫を作ることができます。)
- ・ 麻疹の定期予防接種の対象は、1歳児(第1期)、小学校就学前の1年間(第2期)です。まだ受けていない方は、早めの接種を検討しましょう。

海外渡航をされる方へ

- ・ 海外における麻疹の流行が報告されており、海外からの輸入事例の報告が増加しています。
- ・ 過去に麻疹にかかったことがない方、麻疹含有ワクチンの2回の接種歴がない方は、渡航前の予防接種を検討してください。
- ・ また、帰国後2週間程度は健康状態に留意し、症状が出た場合は、受診する前に医療機関に連絡し、渡航先や滞在期間等を伝えた上で、医療機関の指示に従い受診してください。
- ・ 受診の際は、感染拡大防止のため、公共交通機関等の利用を避けてください。

○長野県「麻疹(はしか)」

<https://www.pref.nagano.lg.jp/shippei-kansen/kenko/kenko/kansensho/joho/mashin.html>

○厚生労働省「麻疹」

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou/measles/index.html